

研究のご協力をお願い

札幌麻生脳神経外科では下記の臨床研究を行います。皆様におかれましては本研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますよう、お願いいたします。

なお、本研究への参加を希望されない場合、または本研究に関するお問い合わせは、お手数をかけますが、当院連絡先までご連絡ください。

1. 研究名：拡散型体外衝撃波が脳卒中後の痙縮に及ぼす影響

2.

3. 研究の対象

当院に入院された脳卒中患者

4. 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月

5. 研究目的

拡散型体外衝撃波療法(以下、ESWT)が脳卒中後の痙縮に及ぼす影響を検討することである。

6. 研究方法

対象者は、当院に入院された脳卒中患者とする。参加基準は Modified Ashworth scale(以下、MAS)1以上とする。期間は倫理委員会承認後より開始し、2026年3月までとする。周波数や強度、実施頻度の違う介入(A)、介入(B)をランダムに割り付け、各2回繰り返す。Wash Out 期間を1週間とする。照射部位は下腿三頭筋筋腹、筋腱移行部、足底筋膜とし、1session/週で4session実施する。即時効果の評価は同日の介入前と介入後に実施し、MAS、Modified tardive scale(以下、MTS)を評価し、治療効果を検証する。また、ESWT中に疼痛が生じた対象者のみ疼痛の程度を Visual analogue scale(以下、VAS)を用いて評価する。

7. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別・診断名・合併症(既往歴)・発症形式・発症年月日・入院年月日・治療内容・入院時臨床経過・退院年月日・退院時所見・理学療法評価等

8. 外部への試料・情報の提供

研究データは研究責任者が保管・管理し、外部に提供することはない。本研究で得ら

れた情報を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含まないようにする。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

当院連絡先：

札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション部 加藤 雄大

住所 札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1-40

電話 011-731-2321